

# 学研北生駒駅周辺まちづくり会議 ニュース 第5号

【発行主体】

生駒市都市計画課

TEL 0743-74-1111（内線 565）

11月4日（火）の19時より、北コミュニティセンターにて第5回学研北生駒駅周辺まちづくり会議を開催しました。

今回は、前回までに出された各グループでのキャッチフレーズ案をもとにひとつのキャッチフレーズを決定する作業とともに、まちづくり構想案について議論を行いました。



## 〈会議の概要〉

1. 開会
2. まちづくりのキャッチフレーズについて
3. まちづくり構想案について
4. 今後の進め方
5. 閉会



## ◆◆ まちづくりのキャッチフレーズが決まりました ◆◆

第4回の会議では各班で1つずつキャッチフレーズを決めていただきました。それをもとに事務局でも2案作成し、計5つの案をもとに意見交換を行いました。その中で、

- ・ノーベル賞を受賞した山中教授を輩出した奈良先端科学技術大学院大学があるなど、『知』の拠点であることは当地区の大きな特徴である
- ・自然や歴史（ロマン・夢）というキーワードも必要である。
- ・ゴロが良く、覚えてもらいやすい、伝わりやすいフレーズが良い。

といった意見が挙がり、これらの思いを集約したフレーズとして以下のように決まりました。



自然

知

夢

がはばたく 北生駒

～過去から未来へ伸びゆくまち 地域に根を張りつなげるまち～

## ◆◆ まちづくり構想案について概ね合意に至りました ◆◆

これまでのまちづくり会議で議論してきた内容は、事務局でまちづくり構想案としてとりまとめ、まちづくり会議の場で説明しました。個別の点についてはいくつか意見が出されましたが、総論としては概ね合意に至りました。

今後、出された意見を構想案に反映させ、庁内の諸手続きを踏まえて「学研北生駒駅中心地区まちづくり構想」の成案化を行い、学研北生駒駅中心地区のまちづくりの共通指針として活用していきます。

## 【まちづくり構想案に対して頂いた主なご意見とその回答など】

Q. 現・奈良交通の操車場の部分や枚方大和郡山線沿道の商業施設開発の部分など、個別の開発を上手くつなげていくことが必要。そのためのまちづくり構想であってほしい。

A. ご指摘のとおりです。

具体的な活用の仕方はまだこれからの検討となりますが、このまちづくり構想の考え方を基本的に具体化していただくように調整を図っていくこととなります。

Q. とにかく交通問題が重要。現段階での計画を示してほしい。また、来年度にはサンヨースポーツセンターのオープンによりさらなる渋滞が懸念されるが大丈夫なのか。

A. 都市計画道路の見直し検討は現在進めているところです。一定の検討を終えた時点で説明させていただく予定です。

Q. 道路の件もそうだが、全体的に説明時期が遅いことが多い。途中経過でも良いので出来るだけ地元には状況報告を丁寧にして欲しい。

A. 熟度の問題等もありますが、出来るだけご要望に沿える対応をさせていただきたいと思えます。

## ●松村先生（愛媛大学教授）のコメント

最後に松村先生（愛媛大学教授）にコメントをいただきました。コメントの要旨は以下のとおりです。

- ➡ 長い時間にわたってご議論いただきました本当にお疲れ様でした。
- ➡ 私もずっとお話を聞いていて、皆さんの思いが伝わりました。
- ➡ 交通問題など解決すべき問題もありますが、これを機にこれまで以上にコミュニケーションを取りながら、成果につなげていければと期待しています。
- ➡ 「今後の進め方（第5回まちづくり会議 配布資料3）」にもありますが、今後は計画期があり、さらに活動期というのがあります。この活動期において、事業者だけでなく、地域の皆さんも参加してまちづくりに関わってほしい、というのが大きな特徴だと思います。
- ➡ これまでの「空間だけ作れば良い」という考え方ではなく「空間をいかに使うか」を考えることでより良いまちづくりが実現するはずですよ。
- ➡ そういう意味でも、このまちづくり構想はこの地区の憲法のようなものです。ここに書かれている理念にのっとり、空間づくりとともにまちづくり活動を展開していただきたいと思えます。
- ➡ まさに今日がその記念すべき日であり第一歩です。そしてこの地区の取り組みが、生駒市におけるまちづくりのスタンダードになることを期待しています。

